

2018年8月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 8月えんだより

8月の聖句 「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」

マルコによる福音書6章50節

未曾有の豪雨災害によって、多くの被害に遭われた方々に、お見舞いと一日でも早い復興を心より願ってやみません。先月の大雨の際には、不安な時を過ごしたのではないのでしょうか。大雨が続く時と共に、どのような状況に陥るか分からないことへの怖さや自然に対する人間の力の限界も感じ、数々の情報は得られるものの、類まれな事態に対して安全の確保について改めて考えさせられる機会でもありました。

このような非日常的な出来事に対して、人間は不安を抱くことは当然のことといえます。ましてや、気象情報や交通情報などは毎日のように目にしており、それが正確であればあるほど信じます。しかし自然の力はそうした文明を超えて未知の出来事を起こします。その意味において、新たにされる一日一日は、未知の出来事の連続といえます。子ども達が毎日少しずつ成長していくことも、又未知の出来事でありましょう。

「信じる」この人なら大丈夫だという思いから生まれてきます。条件をつけて信じることは、本当に信じることにはなりません。「大丈夫」といわれても、「安心しなさい」といわれても、信じることはできません。今月の聖句は、荒れ狂う逆風の中、舟を漕ぐ弟子達が前に進めず、命の危険を感じていたその時に、居るはずのないイエスが突然現れた場面です。「安心しなさい。わたしだ、恐れることはない」と言われ、驚異と共に心の落ち着きを取り戻したのです。

何か劇的な出来事のなかに神様の働きがあるわけではありません。何気ない日常に、何気ない一言に安心させられたその中に、神様の働きを感じるがあります。恐らくイエスと弟子達は日々のなかで信じあえる関係があったのでしょう。ゆえに突然現れても信じる心が呼び起されたのだと思います。どんな境遇におかれても、信頼すべき存在があるということは心強いです。そして自分を信じてくれる人がいることはとても勇気が与えられます。期待され、信頼され、それが嬉しいと思えて自信をつけていき、又、人に期待し、信頼しあえる相互の関係を築き上げていくのだと思います。

「大丈夫、安心して」と語り合える関係を築き、いつまでも続く関係を作り上げていきましょう。神様は、そのことを信じて「生」を私たちに与えていただいたと信じています。

8月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	たのしい	たのしむ
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *夏の生活をゆったり健康に過ごす *周囲の人や物とふれあい、興味を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> *平和を考え、願い共に祈る。 *友だちと共にいることを喜び、体を十分動かして遊ぶことを喜ぶ。 *新しい発想や意欲を持って試してみる。
讃美歌	どんどこどんどこ (こども改 136)	ロケットにのって (こども改 109)